

経営比較分析表

神奈川県 寒川町

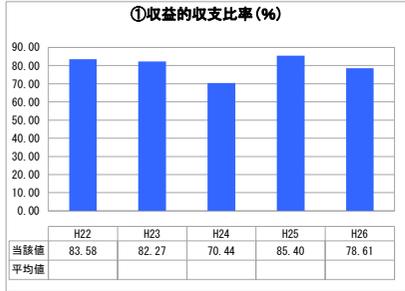
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Bc1	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	92.48	89.37	1,942

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
48,092	13.34	3,605.10
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
44,583	7.58	5,881.66

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

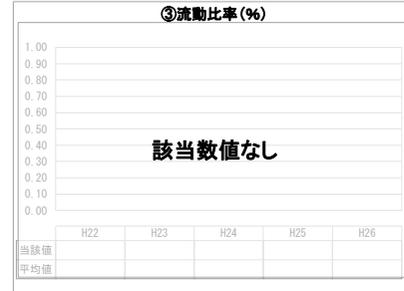
1. 経営の健全性・効率性



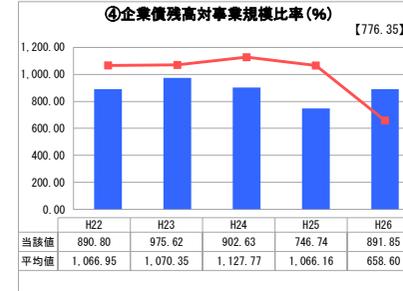
「単年度の収支」



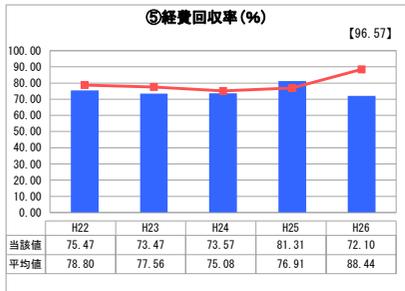
「累積欠損」



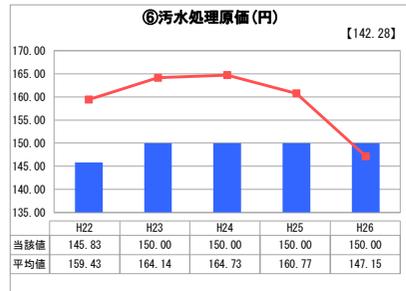
「支払能力」



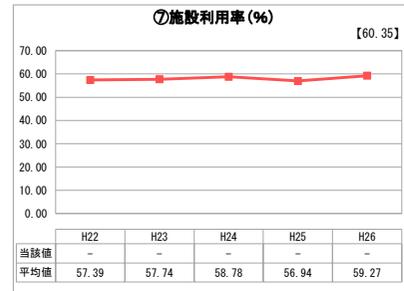
「債務残高」



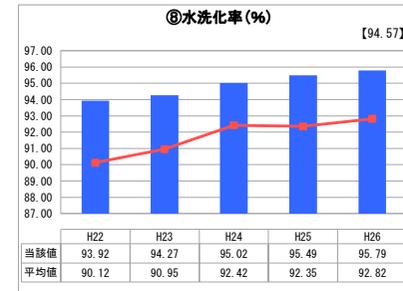
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

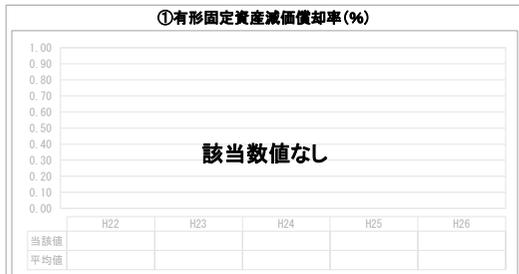


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

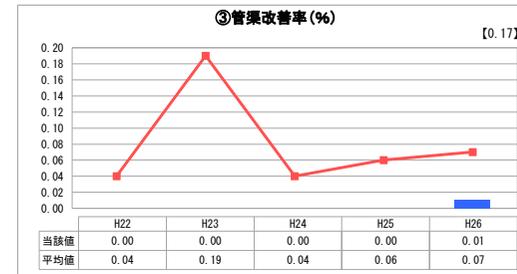
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

平成27年4月より地方公営企業法（企業会計）の適用を受け、出納整理期間がない打ち切り決算となるため平成26年度の経営数値は減少しております。近年の経営としましては平成25年度に料金改定を実施したため収益的収支比率や経費回収率は増加を示しており、比較的健全な方向へ進む指標となっております。

しかしながら、経費回収状況は類似団体平均値より低く、水洗化率は高いことから今後、収益状況の増加を見込めず、また、施設の老朽化に伴い維持管理費が増加傾向にあるため、依然厳しい経営状況となっております。

2. 老朽化の状況について

老朽化対策としましては、整備を開始した地区から順次、カメラ調査等を行い管路の更生工事を行っております。

管路の更新率は類似団体平均値より低くなっております。現在、既存の管路を有効活用する長寿命化計画や震災に対する耐震化を含め計画的な投資を進めております。

全体総括

現在、90年代に集中的に建設投資された起債の償還にかかる負担が会計に影響を与えておりますが、償還残高が平成32年度以降から徐々に解消して行くため、比較的健全な方向へ推移される見込みとなっております。

しかしながら、施設の老朽化が進むことに伴い管路更新費が今後増加することから、事業を計画的に進め、接続促進や経費縮減を進めながら効率的な運営に努めてまいります。

また、依然、厳しい経営状況を踏まえて受益者負担等も含めた、経営の健全化、安定化に向けた経営計画を検討していきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。